



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

掲示板法話

人間の言葉を超えた

「同感」の心にすくわれる

日本は世界有数の長寿国になりました。かつては、難病と言われた病気でも医療技術の進歩や新薬の開発によって延命効果が現れています。また、予防医療の情報が普及して健康寿命も延びています。「死ねない時代」「死なない時代」などと言われます。

社会現象としてそのような傾向を否定することはできませんが、人それぞれに愛別離苦の悲しみ、生きる苦悩がなくなる訳では決してありません。却って生死の苦悩は複雑多様で深いものがあると思われまます。

先日、私より一つ年上の従兄の葬儀をお勤めさせて頂きました。緊急入院直後の危機は乗り越えられたものの、発症から二か月後の危機はやはり乗り越えることができませんでした。平均寿命より十年も早い、思いがけないお別れはご家族にとつて耐えがたい悲しみでありましよう。そのご家族の悲しみや苦しみを思うにつけ、同年輩の親族として、かけるべきお悔やみの言葉が中々見つかりませんでした。ふと松尾芭蕉をめぐる古事を思い出しました。芭蕉の友人が幼子を亡く



して悲嘆にくれていました。芭蕉は何とか友人にお悔やみの気持ちを伝えようと、俳句を詠もうとしましたが、中々句が浮かびません。そこで、芭蕉は「まっさらな白紙」の書状を友人に送りました。友人夫婦は、「あなた方の悲嘆を思うと、とても言葉がありません」という芭蕉の深い心情を察し、幼子を偲びつつ滂沱の涙を流し、火鉢を囲む夫婦の涙で炭火のじむ音だけが聞こえたということでした。そんな友の悲嘆に思いを馳せて、芭蕉は秘かに一句したためました。

埋もれ火も消ゆや涙のにじむ音
単に、「悲しみに寄り添う」などの言葉で表し尽くせない、人間の言葉を超えた「同感の心」が動いています。同感とは「相手の身になること」と言い換えることができますが、我々は完全に相手の身になりきることなど到底できません。しかし、「衆生病むゆえに我病む」という如来さまの真実の言葉に照らされて我が不完全さを自覚させて頂く時、人間の言葉を超えた真実の世界に導かれ、「同感の心の交流する」尊さに気づかせて頂きます。

☆行事ご案内☆

◇10月門信徒会例会

10月16日(日)夜7時半

① 報恩講&御正忌参拝、② 伝灯奉告法要について



悲しい別れは念仏申すご縁に転じられます。
安楽浄土にいたるひと
五濁悪世にかへりては
釈迦牟尼仏のごとくにて
利益衆生はきはもなし(浄土和讃)
涙ながらにお念仏申すご遺族の姿は亡き人の「命がけの説法」のお働き
の証しでありました。共々にお念仏申す中にこそ、お悔やみの言葉が凝縮されていたのですね。

写真アラカルト



子や孫に仏縁をつなぐ!

※「第6回善正寺門徒展」10月3日より31日までの1カ月

間、百五銀行阿倉川支店ロビーで開催。続いて報恩講(11月2、3日)に本堂で展示、子供から大人までの力作をご覧下さい。

◇絵手紙教室 10月11日(火)午前10時 14回目川崎光子先生「下手でいい、下手がいい!」いつでもご自由に参加下さい。

◇キッズサンガ 10/1(土)4時。鐘つきは毎夕5時年中無休

◇三重組コーラス 10/6 午後1時より 西勝寺様

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設8年2カ月で21万6千訪問、一日約90訪問、悩み相談、大歓迎!即返信

◇一縁会テレホン法話:059・354・1454お電話を!

◇「報恩講」11月2日午後・夜、3日午前・午後

講師:守(もり)快信先生(滋賀・初)、お非時は2日午前11時より12時。手作り昼食をご自由にお召し上り下さい。

2日夜は琴の演奏も有り。3日午後は三全仏婦主催の報恩講。

◇新納骨堂:後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事の場所でお困りの方、寺にご相談下さい。本堂使用可

坊守スケッチ

辛さを乗り越える方法



長年愛煙家だった僧侶のN氏が、ついに禁煙に成功した秘話を、ブログに掲載しました。

「煙草を吸いたいと思うたびに隠れ念仏者を思い出して、念仏申すようにした。するといつの間にか煙草から解放されている自分に気が付いた」

ここで『隠れ念仏者』を少し紹介しましょう。江戸時代、薩摩藩では念仏を禁止する厳しい統制が出されました。禁を犯す者は、斬首、はりつけ、火あぶり、逆さ吊り、石責め等、過酷な拷問を受けました。特に天保年間の弾圧は14万人にも及び、真宗門徒は洞窟に住んで、地下組織の講を作って念仏を相続しました。拷問に堪えながらも死の間際まで念仏を唱えて逝った人、念仏を唱えながら荒波の海に飛び込んだ人等、決死の覚悟の『隠れ念仏者』ばかりでした。そのことを思えば、煙草を止めることぐらいたいわいもないことです。煙草が吸いたくなったら念仏を唱えることにしました。とうとう煙草依存症から脱却しました。

ところで、私も朝の散歩時に人知れず実践している克服法があります。かかん照りの夏の日差しの中を、汗だくで長い坂道をたらたら歩くのは結構きつい運動です。そこで思いついたのが、歩きながら和讃を行進曲代わり

に口ずさむこと。自分で気に入った和讃を次々に20首程、誰にも聞こえないように小声で歌いながら歩いていきます。メロディは『恩徳讃』の旧節。

七五調の歌詞なので、どれでもぴったりに合います。二人で歩けば、息も合って足取りも軽く、必ず左足からスタートします。和讃は頭の中で全て漢字に置き換えて暗記しているので、お浄土がイメージされて阿弥陀様の光に包まれた気分です。頭の体操と足の運動、一挙両得の気分です。お金もかからず健康も維持できます。苦難を乗り越える方法は人様々ですが、仏様の世界をイメージすると、歩く辛さや夏の暑さも忘れず、是非皆様もお試し下さい。

お知らせ

今年も十月の一月間、百五銀行阿倉川支店で『第六回善正寺門徒展』を開催します。門徒さん以外の作品もOK。皆様の出品、ご協力よろしくお願います。作品は十一月二・三日の『報恩講』に本堂へも展示します。

敬告

★服部衛様(82・大谷台) 8月18日往生の素懐を遂げられました。合掌
★川村保徳様(73・富洲原) 8月28日ご往生されました。合掌

☆若院夫婦の『育自な毎日』その23

我が家の長女、紗恵はおかげさまでこの十月に二歳の誕生日を迎えます。二歳はいわゆるイヤイヤ期。何でも「いや!」、「自分でやる!」、など自己主張を始める時期です。

長女も最近はお着替えを嫌がり、素裸で家の中を逃げ回ります。無理矢理に着替えさせれば大号泣。それでしばらく放っておいて、別のことに気をそらせてからパパッと着替えさせます。上の長男のときは、いちいちこの反抗に付き合っ、親の方がイライラしていましたが、二人目ともなるとうまい対応法を学ぶものです。

そんなイヤイヤ期が始まった長女ですが、妹が大好きな長男は、妹の頬や掌にチュッとします。妹から「いや!」とはつきり拒否されても、めげずに「可愛いね」と言っ、抱きつきます。時には、けんかもします。

「もう、あかんよ、にーちゃん!」と母親の口調そっくり長男を注意します。女の子はしっかりしているとは聞きますが驚きです。

親から見れば、子供達の問題が目についてハラハラすることもありますが、子と共に親も成長すると考えて、少しずつつけていこうと思えます。当寺を支えて下さる皆様もどうか温かく見守っていただきますよう、よろしくお願いたします。(若坊守)



ホットニュース

◇新企画『孟蘭盆会(うらぼんえ)法要』(8月14日(日)朝8時半)には多数の皆様にお参り頂きました。ご家族連れや若い人、在所の門徒さんは勿論、新規に納骨堂にご縁を頂いた方など和気藹々の雰囲気。全員でお焼香して正信偈をお勤めしました。住職法話、その後お茶と菓子のお接待などがありました。暑い中ようこそご参拝でした。

寄稿

四日市市 釈清風
※生かされて 流れる汗に 光あり
※晩夏夕べ 生死無常の 風を聴く
※青春の 歌声遠き 夏想い

カンパありがとう

天花寺健司様、他匿名様より頂戴しました。感謝!

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第二七四号をお届けします。◇猛暑と共に、台風、豪雨の被害が相次ぎました。命や生活の場を喪失された関係の方々にご心よりお見舞いを申し上げます。◇医療技術や新薬の開発で随分長寿化が進んだために、現代人はご先祖たちが抱いた無常観を遠ざけ、生死無常を我が事と受け止める感性を鈍らせている。地縁、血縁社会の希薄化も拍車がかかっている。◇本山の伝灯奉告法要が始まり、報恩講の季節でもある。仏法においてこそ「まさか」の危機を超える道があることを思うが如何?

今年の台風は東北や北海道を直撃したり、太平洋上を
リターンしていつもとは違うコースを辿ります。一方熊本で
は地震の被害が深刻。全く予測不可能な時代にな
りまゝした。地球温暖化の影響か？人間が奢り高ぶ
った生活をしてきたツケが回ってきたとしか思えません。天
変地異に限らず、私達の人生そのものがまさかまさかの
の連続です。東京オリンピックの頃には、4代男性
の未婚率が4分の1を占めます。更に一人暮らしが5千万世
帯で全体の3分の1を占めます。都会の单身若者
と田舎の单身老人が当たり前の時代になります。
英国のジョセフ・マフィが「子供は親の言うことは聞かない
が、親のする通りにする。親の生き方こそ子供にとって
最高の教材」と言いました。しかし現代は家族バラ
バラの時代です。スマホが普及したとはいえ、如何に
親の生き方を伝えるのでしょうか？それには宗教的
儀礼が一番。ご先祖の法事を勤めること。バラ
バラの家族が一つにまとまります。私達親世代が中
勝手な生き方をしていたのでは、子供に恥しい限り。
胸を張って伝えられるように、自分の生活を律して
いさぎよしく。それには仏法に照らし出された心の
鑑^{かがみ}も聴聞によつて磨きましよう。私達寺族も
皆様一人一人の悩みや悲しみを忘れないで、
体制作りをします。ネットの悩み相談や困り事相
談など気軽に声をかけて下さい。合掌

平成二十八年十月 善正寺 方丈 年